

静岡県立焼津中央高等学校令和7年度第3回学校運営協議会 議事録

I 概要

- 1 開催日時 令和7年10月18日(土) 午後1時10分から3時30分
- 2 開催場所 静岡県立焼津中央高等学校 応接室
- 3 出席者(委員) 池田恵一様、稲森錦二様、岡本康夫様、後藤陽子様、
田代直幸様、成瀬由佳理様、藁科善彦様
- 5 協議資料 焼津中央高校魅力化に向けたアンケート結果
一日体験入学アンケート結果

II 議題等(次第順)

- 1 学校公開見学
 - (1) 公開授業見学(新校舎)
 - (2) 学校公開全体会见学(体育館)
- 2 開会
- 3 協議
 - (1) 学校公開見学について
 - (2) 焼津中央高校魅力化に向けたアンケート結果について
 - (3) その他
- 4 連絡事項
 - (1) 第4回日程について

III 協議内容・意見の概要

1 会長挨拶

夏季休業中に地域交流センターで実施した小中学生対象のステップアップセミナーでボランティアに来てくれた生徒がたくさんいた。教えることは頭がいいだけではなく、子供たちの様子を見ながら、どういうタイミングで声掛けをすればよいかが重要である。そのタイミングを焼津市の指導主事に教えてもらえる。知識だけではなく、どのようなタイミングで子供たちの様子を掴めばよいかを学ぶ良い機会になったと思う。

2 アンケート結果概要説明(授業改善に焦点をあてて説明)

・雰囲気づくりに気を付けている先生方が多い。他者との意見交換前に一人でじっくり考える時間を設けること、内容よりも個々に勉強するときに活用できる道筋を示すこと、単元の知識を活用できる仕掛けをつくること、学習意欲を喚起することが重要である。

・教科ごとのICTの利用方法の工夫、「主体的」と呼べる場面の設定や捉え方、自分の授業に他者の視点を取り入れることが大切である。授業で得た疑問や気づきをもとに、探究活動に繋げていく仕組みができると、授業の質が上がると考える。

3 学校公開見学について

<A委員>素晴らしい校舎が完成した。保健室が広く、心や体の調子が変わりやすい生徒の様子がよくわかるのが良い。生徒ホールは、組合せの仕方で様々な形態に変わり、自分で考えて自分のことばで話すことができ、ディベートができる環境が素晴らしい。ただ、旧校舎の屋上にあった時計は焼津中央高校のシンボルだったので大変寂しい。校長室前の写真はとてもよいと思う。焼津中央の60年の生徒の活動の歴史(オペラやギネス記録、名物の先生など)をパネルにしてアーカイブとして残すのも良いのではないかな。今までにない新しい学校をアピールできるコーナーができるのではないかな。教室の大きさが狭いよう

に思う。フリースペースのようなものがあるとよかった。

＜B委員＞アンケート結果の説明で、求めていく授業の方向性はいいが、それをどのように授業づくりに実際に繋げていくかが大切である。教科に関わらず、課題とは何か、ねらいは何かということを考え合う時間が必要である。子供の意識を高める方法を考えるべきだ。

新しい校舎になって環境が変わったと言える。環境が人を育てるというが、その育てていく中身を押さえておくべきである。生徒が授業で思い切り活躍できる環境にしていけることが大切。個でまず考え、グループで意見を出し合い、全体でまとめる、という活動の中で、生徒から出てくるエネルギーを活用していくとよい授業が作れるのではないかな。時計は確かにシンボルだったと思う。

＜C委員＞新しい校舎は素晴らしい。生徒ホールは新しいアイデアを生む空間になりそう。縦横比が同じだとよかったのではないかな。新校舎は、焼津中央の生徒と先生で魅力化差別化に向けた新たな契機となる。スローガンを作り、そこに向かって進むとよいのではないかな。アンケート結果から、学力とは別に「焼津中央ではこういうことができる」というのがあるとよい。高校生の間に様々な経験を経験すること、色々な経験が人間形成に役立つと思う。それが高校の生活の中でできるといいのではないかな。高校統廃合の話も聞くが、「この学校はこの学校だ」という特色があることが大切ではないかな。

＜D委員＞CH探究活動のテーマがSDGsから変わったが、他者や地域とのかかわりで成り立っていく探究もあるのだ、と感動した。校舎は、教室が狭く感じられた。生徒から、夏の冷房が効きすぎて、インナーで調整しなければならない、という話も聞いた。個人で感じ方が違うので、融通が利くとよい。

＜E委員＞見学している中学生が授業を見て「自分がこの授業についていけるか心配」といった感想を述べていた。中学生の気持ちになると、授業参観の案内は十分だったのだろうか。授業名だけではなく、見どころや授業のポイントを掲示する、QRコードで授業の見どころ紹介をするなどもできるのではないかな。生徒がひとり廊下に出て説明してもよいのではないかな。案内をする人がもう少しいてもよかったのではないかな。CHの報告は、生徒が自分のことばで自分が楽しかった活動を話すことが重要な要素である。自分たちの成果を発表する場を考えながら、探究活動を進めることが、大切なのではないかな。

＜校長＞授業見学では十分に魅力を伝えきれなかった。案内やポイント紹介があるとよかった。

＜F委員＞新校舎はきれいでよいが、机や椅子もきれいになると思っていたので少し残念である。先生方のアンケートについて、生徒対象のアンケートもあってもよかったのではないかな。

＜G委員＞統廃合になるかならないかのポイントは授業だと思われる。新しい校舎は、廊下の窓が良い。子どもたちの様子をよく見ることができる。だが、先生方の授業が「外向き」になることは望ましくない。単元構成を組み、なぜこれを勉強しなければならないかを子どもが知ることが大切である。主体的というと活動ありきになりがちだが、子どもの表情を見て、子どもの心の動きを判断できるようになってほしい。

上記内容を確認しました。

議事録署名人

(氏名)

成瀬 由佳理

(氏名)

葉科 善彦